

荒尾



ジャク釣り大会



7月27日、ラムサール条約湿地の荒尾干潟で「荒尾マジック釣り大会」を開催。約900人の参加者は、筆を使った伝統漁法で市の魚でもあるマジックとの駆け引きを楽しみました。

干潟のあちらこちらでは釣果に一喜一憂する参加者の歓声が響き、泥んこになって遊ぶ子どもたちの姿もありました。初参加の川上さん（合志市）も、「想像より難しかったですが、子供たちにとつては美しい自然に触れるいい機会でした」と目を細めました。

受付会場にはマジックの天ぷらの試食もあり、干潟が育んだ恵みに多くの人が舌鼓を打ちました。



見もとれたよー！



荒尾干潟水鳥・湿地センター



オープン

8月10日、荒尾干潟水鳥・湿地センターが蔵満海岸前に開館し、記念イベントを開催しました。

テープカットとともに開館した施設には、多くの人が列をなして入場し、さまざまな展示を興味津々に眺めていました。開館後には、あけぼの幼稚園児、地元の劇団（劇団かたつむり）などによるアトラクションも会場を沸かせました。岩下なつきさん、しずくさん姉妹（東屋形）は「今度はワークショップにも参加したい」と笑顔で話しました。



テープカット。全国で11カ所目、九州では初となる水鳥・湿地センターです



2階からは干潟の眺望を楽しめます



干潟と縁のある著名人を招いたトークショーも開催

